

2021年8月19日

プレスリリース

エヌエヌ生命、引受査定業務における AI の実装準備を開始

～ AI ベースのストレート・スルー・プロセッシングにより 加入申込手續の迅速化を図る ～

中小企業向け生命保険に特化するエヌエヌ生命保険株式会社（代表取締役社長：フランク・エイシク、本社：東京都渋谷区）は、引受査定業務における AI-OCR の導入の決定と機械学習による支払いリスク予測モデル構築の PoC（Proof of Concept：実現可能性の検証）を完了し、2022 年内の実装に向けた準備を開始しました。引受査定業務における AI を活用したストレート・スルー・プロセッシング（Straight-Through Processing：人手を介さない査定業務）の 2022 年内の実現を目標とし、これによりお客さまの加入申込手續の迅速化が可能になります。

これまでエヌエヌ生命では保険引受時の医務査定において、お客さまから健康診断結果報告書や人間ドック成績表といった医務書類を、募集人および当社営業担当社員を介して郵送で受け付けるフローを採用してきました。また本社で書類を受け付けた後、事務担当者は項目ごとに目視確認を行い手入力でデータ化を行ってきました。目視で確認を行う項目は 1 帳票あたり 30 以上にのぼり、また医務書類は医療機関ごとに異なる非定型の帳票であるため、こうした書類の郵送や当社での人手に大きく依存する作業が申込手續の迅速化を進めるにあたってのボトルネックとなっていました。AI-OCR を実装することでお客さまは医務書類の提出が不要となり、エヌエヌ生命では医務書類データの読み取りおよびデータ入力の自動化を実現します。

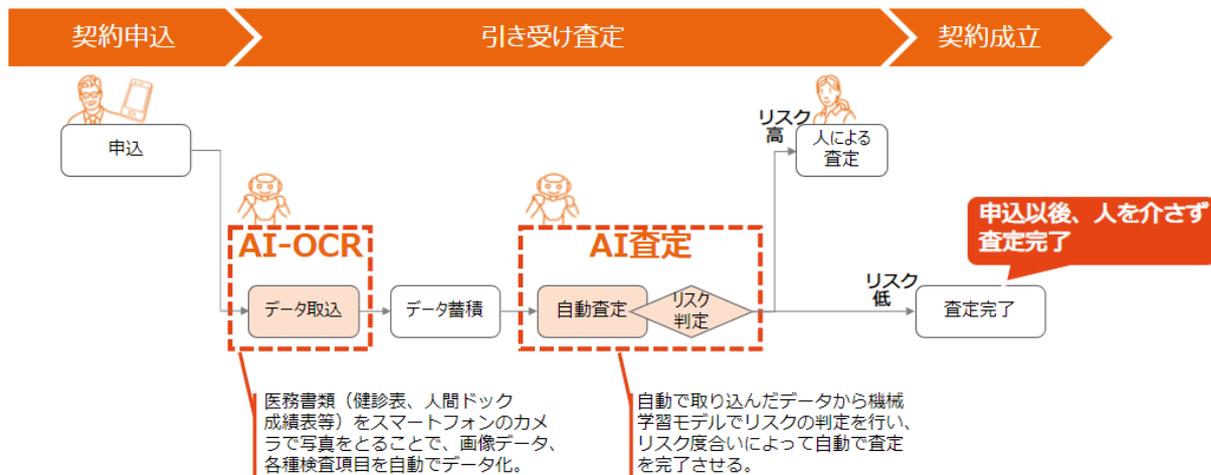
ストレート・スルー・プロセッシングでは、AI-OCR によってデータ化された各検査項目に基づいて自動で医務査定を行います。このプロセスでは機械学習モデルとルールエンジンを併用し、これまで平均 2 ～ 3 営業日かかっていた査定完了までの期間を引き受けリスクの程度に応じて最短で 3 分以内に短縮することが可能となります。

AI-OCR による非定型帳票の読み取りとデータ化の自動化には株式会社シナモン（本社：東京都港区、代表取締役社長 CEO：平野 未来）、また機械学習および AI 査定には DataRobot, Inc.（本社：米国マサチューセッツ州ボストン、CEO：Dan Wright）のソリューションをそれぞれ採用します。

エヌエヌ生命は AI や機械学習といった先進技術の活用基盤やデータプラットフォーム整備等の業務基盤の強化に注力しています。医務査定におけるストレート・スルー・プロセッシングの実現により、業務の効率化と加入申込手續における顧客体験のより一層の向上を図ります。

以上

参考資料：AI を活用したストレート・スルー・プロセッシングの実現イメージ



本件に関する問い合わせ先（報道機関用）

エヌエヌ生命保険株式会社 広報部 原

TEL: 03-6892-0523 Email: ML-IL-JP-CCA@nnlife.co.jp

エヌエヌ生命は、オランダにルーツを持ち、175年におよぶ伝統を誇るNNグループの一員です。NNグループは、欧州および日本を主な拠点とし、19カ国にわたり、保険および資産運用事業を展開しています。その名は、源流である「ナショナル・ネーデルランデン」に由来しています。エヌエヌ生命は、1986年に日本で初めてのヨーロッパ生まれの生命保険会社として営業を開始して以来、30年以上にわたり、中小企業の“大切なもの”を共に守る商品やサービスをご提供しています。